

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
ドイツ語 I	竹添 敦子	演習	2		4	4	1,3
授業概要 授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・平易な初級文法の範囲内で会話練習と反復繰り返しに徹し、確実な基礎力をつける。 ・ドイツ事情、風習、地理歴史などを紹介し、ドイツ文化の一端に触れる。 ・参加型授業のため、出席を重視する。年間 10 回を超えて欠席した場合、評価の対象外とする。 						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 ドイツ語の発音がきちんとできる。 2 初歩のドイツ語を使って自己プレゼンテーション、コミュニケーションができる。 3 ドイツ語検定の 5 級、4 級に合格できるレベルを目指す。 						
回	学習内容	回	学習内容				
1	なぜ「クマ」？（ドイツ語圏の話）	16	「どこへ行くの？」（前置詞）				
2	アルファベットの発音・ドイツ語で挨拶	17	「私はここにいる」（前置詞）				
3	ドイツ語発音の原則・母音と子音	18	ドイツ語の不思議（再帰代名詞）				
4	ドイツ語の日常表現・発音のまとめ	19	ドイツ語で道案内（命令形）				
5	ドイツと言えば、サッカー（動詞の練習）	20	豊かな会話（話法の助動詞）				
6	「はい」「いいえ」で答える（動詞の位置）	21	「してはいけません」（話法の助動詞）				
7	「何が好き？」（補足疑問文で会話）	22	時刻表現（基数の読み方、公式表現）				
8	主語と動詞の組み合わせ（動詞の人称変化）	23	誕生日の表現（序数の読み方、日常表現）				
9	「乗る」「食べる」「見る」（重要な動詞）	24	起床から始まるスケジュール（分離動詞）				
10	男性、女性、中性!？（名詞の性）	25	一味加えた会話（副詞、非分離動詞）				
11	冠詞で区別（名詞の格、複数形）	26	ドイツのクリスマス（映像を観てみよう）				
12	便利な haben（不規則動詞）	27	メールにチャレンジ（動詞の三基本形）				
13	既知のもの？未知のもの？（不定冠詞）	28	物語を読みたい！（動詞の過去形）				
14	持ってる？持っていない？（否定冠詞）	29	ドイツ旅行（動詞の現在完了形）				
15	試験、終了後「カフェで注文」のシーン練習	30	試験、終了後「壁の崩壊」を読む				
予習内容 復習内容	予習：音声を確認し、発音練習をしておく。辞書を使用して練習問題（Übung）を準備する。 復習：授業内容を確認し、音声を聴きながら声を出して読み直す。「復習ドリル」を解く。						
教科書	『クマといっしょにドイツ語 —1. 会話 2. 文法 3. 復習ドリル』（朝日出版社）						
成績評価	前期末、後期末の 2 回の試験（50%）、復習ドリル等提出物の内容（30%）、発言等積極的に取り組む姿勢（20%）						
実務経験							
その他 特記事項	5 月以降、授業には辞書を持参すること。辞書については最初の講義で案内するので、新たに購入する場合はその後が望ましい（先輩や家族から譲り受けたものがあれば、それを使用してもよい）。						